

特定非営利活動法人
しみん基金・こうべ

2000年度事業報告



2001年 3月

はじめに

平成 12 年度のしみん基金・こうべでは 2 回の助成事業を実施致しました。第 1 回助成事業では特定申請（震災復興、被災地支援等）及び一般申請合わせて 26 団体よりの申請を受け、公開審査の結果、6 団体（特定 4 団体、一般 2 団体）に合計 300 万の助成を致しました。また、新設された草地奨励賞に 1 団体を選出致しました。第 2 回助成事業では特定申請及び一般申請合わせて 25 団体より申請を受け、同様に 8 団体（特定 2 団体、一般 6 団体）に合計約 500 万円の助成を致しました。その他の事業としては、当基金への募金を目的とした第 3 回こうべ i ウォーク、NPO 関係者の為にアメリカ・カリフォルニア州にあるタイズ財団・パイク会長の講演会を共催事業として実施致しました。また、神戸 21 世紀復興記念事業協会より委託事業として、もいちど出会えてありがたい支援事業を受託し、行政から初の NPO への助成委託事業として 2 回の助成事業を行いました。それぞれの詳細は報告書をご覧ください。

夢の代名詞であった 21 世紀はもはや現実のものとなりました。震災から 6 年、長引く経済不況と記憶の風化の中で、市民活動を支える手は次第に少なくなろうとしています。多くの尊い命を犠牲にして、私達が学んだことを次世代に受け継いでいくこと、また、震災により生まれた市民活動の芽を大きく育てていくことが当基金の使命であると肝に命じ、今後も努力を重ねていく所存です。皆様方からの更なるご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
理事長 黒田 裕子

目次

- 1 平成 12 年度助成事業（第 1 回・第 2 回）
- 2 タイズ財団・パイク会長講演会（共催事業）
- 3 第 3 回こうべ i（あい）ウォーク（共催事業）
- 4 もいちど出会えてありがとう支援事業（委託事業）
- 5 寄付者一覧（敬称略・順不同）
- 6 募金イベント一覧（敬称略・順不同）

年間スケジュール

2000	4	19	理事会
	5	15	理事会
		17	平成 12 年度第 1 回助成事業申請受付開始
		26	平成 12 年度第 1 回助成事業申請受付締切
		31	定時総会
	6	18	タイズ財団パイク会長講演会
		21	平成 12 年度第 1 回助成事業公開審査会
		22	理事会
	9	26	理事会
	10	10	もいちど出会えてありがとう支援事業第 1 回申請受付開始
		20	平成 12 年度第 2 回助成事業申請受付開始
		27	平成 12 年度第 2 回助成事業申請受付締切
	11	10	もいちど出会えてありがとう支援事業第 1 回申請受付締切
		23	平成 12 年度第 2 回助成事業公開審査会
		28	理事会
2001	1	10	もいちど出会えてありがとう支援事業第 2 回申請受付開始
	1	14	第 3 回こうべ i ウォーク
	3	1	理事会
		30	もいちど出会えてありがとう支援事業第 2 回申請受付締切

1 平成 12 年度助成事業

(1) 平成 12 年度第 1 回助成事業（募集要項より抜粋）

[助成の趣旨]

しみん基金・こうべは、神戸市を中心とする地域の個人及び市民団体による公益を目的とした活動に対して助成をし、それによって市民団体等の活動を促進し、21 世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的とします。

[助成の対象]

- ①神戸市を中心とする地域に住所を有する団体
- ②自主性を確保し、自律的に運営をされている団体
- ③団体としての継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力及び組織を備えた団体
- ④神戸市を中心とする地域に住所または活動場所を有する個人

[具体的な内容]

助成金の支給の対象となるのは、平成 12 年 4 月から平成 12 年 9 月末日までの事業で、具体的な内容は次にあげる通りです。また、市民社会の確立・存続にふさわしい「草の根活動事業」「開拓的・先駆的な事業」であると当基金が認める事業については優先して選考致します。

- ①保険・医療または福祉の増進を図る活動
- ②社会教育の推進を図る活動
- ③まちづくりの推進を図る活動
- ④文化・芸術またはスポーツの振興を図る活動
- ⑤環境の保全を図る活動
- ⑥地域安全活動
- ⑦阪神・淡路大震災による被災者救援及び被災地復興を含む災害救援活動
- ⑧人権の擁護または平和の推進を図る活動
- ⑨青少年の健全育成を図る活動
- ⑩国際協力及び地域の国際化を図る活動
- ⑪男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- ⑫前各号に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助もしくは調査の活動
- ⑬その他当基金が特に公益を目的とするものと認めた活動

[助成金額]

支給される助成金は、1事業について総事業費の4分の3以内かつ、金100万円を上限とします。総額は300万円以内を予定しています。ただし、今回はうち200万円分については、特定寄附金からの助成となりますので、200万円は被災者保護、被災地復興、災害救援活動を目的とする事業に助成されることが決まっております。

[申請受付期間]

平成12年5月17日(水)～5月26日(金)

[申請団体数]

特定申請 10団体 一般申請 16団体 合計 26団体

[公開審査会]

以下の日程で公開審査会を開催致しました。

開催日時 : 平成12年6月21日(水) 10:30～15:00

会場 : 神戸市男女共同参画センター(あすてっぷ神戸)

参加 : 申請団体、基金審査員、基金役員、傍聴自由

[審査結果]

公開審査会における審査の結果、助成団体が以下のように決定致しました。

	事業名	団体名
一般申請	ポリオ会通信発行	ポリオの女性の会
	グループホームの施設整備及び運営	中央区むつみ会 グループホーム やすらぎ
特定申請	被災地に係る障害者・高齢者への移送サービス	西宮移送サービス
	ワールド・キッズ・コミュニティプログラム	ワールド・キッズ・コミュニティ
	神戸いのちの電話・電話相談者の継続研修	神戸いのちの電話
	被災された高齢者、障害者のためのカルチャー教室	東灘・地域助け合いネットワーク
計	¥3,000,000-	6団体

第1回全申請団体一覧

	NO.	事業名	団体名
一 般 申 請	1	ポリオ会通信発行	ポリオの女性の会
	2	ボランティア育成講座事業	在宅障害者自立支援センター「えほん」
	3	これからの「教育」を考えるシンポジウム	特定非営利活動法人 ブレーンヒューマニティー
	4	コッキリの会（民族子ども会）サマーキャンプ	コッキリの会（民族子ども会） サマーキャンプ運営委員会
	5	阪神・淡路大震災の体験を語り継ぐ	グループ117
	6	第4回ひょうご建築紀行コンクール	特定非営利活動法人 建築施工技術研究所
	7	新長田駅北地区東部「いえなみ委員会」の活動運営	いえなみ委員会
	8	子どもの年齢に応じた人間関係づくりワークショップⅡ	神戸垂水おやこ劇場
	9	子ども交流会事業	兵庫県在日外国人教育研究協議会
	10	ちっちゃいクラブがたくさん育て！	療育スタッフGネット
	11	STOP! 夫・恋人からの暴力（DV）ホットライン	W・Sひょうご運営委員会
	12	福祉理美容センター 神戸ステーション	福祉理美容センター 神戸ステーション
	13	グループホームの施設整備及び運営	中央区むつみ会 グループホーム やすらぎ
	14	生涯教育・子育て支援	ドレミばたけ
	15	悩める援助者のアクションフォーラム vol. 4	神戸リカバリーサービスセンター さぼるて
	16	ワーカーズコレクティブ立上支援事業（第1期）	都市生活コミュニティセンター
特 定 申 請	1	被災地に係る障害者・高齢者への移送サービス	西宮移送サービス
	2	ワールド・キッズ・コミュニティプログラム	ワールド・キッズ・コミュニティ
	3	プラザ5の運営	プラザ5運営委員会
	4	国際協力ショップぐらすする一つ 神戸店路面店開業事業	有限会社 ぐらすする一つ
	5	被災高齢者サポート事業	V. G. AMOEGO
	6	「女の伝言板」の出版	ウイメンズネット・こうべ
	7	神戸21世紀復興記念コンサートにおける 市民合唱団設立と運営	神戸21世紀復興記念コンサート 実行委員会
	8	神戸いのちの電話・電話相談者の継続研修	神戸いのちの電話
	9	甲南商店街での情報サロン開設事業	パソコンネット オクトパス
	10	被災された高齢者、障害者のためのカルチャー教室	東灘・地域助け合いネットワーク

(2) 平成12年度第2回助成事業（募集要項より抜粋）

〔助成の趣旨〕

しみん基金・こうべは、神戸市を中心とする地域の個人及び市民団体による公益を目的とした活動に対して助成をし、それによって市民団体等の活動を促進し、21世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的とします。

〔助成の対象〕

- ①神戸市を中心とする地域に住所を有する団体
- ②自主性を確保し、自律的に運営をされている団体
- ③団体としての継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力及び組織を備えた団体
- ④神戸市を中心とする地域に住所または活動場所を有する個人

〔具体的な内容〕

助成金の支給の対象となるのは、平成12年10月から平成13年3月末日までの事業で、具体的な内容は次にあげる通りです。また、市民社会の確立・存続にふさわしい「草の根活動事業」「開拓的・先駆的な事業」であると当基金が認める事業については優先して選考致します。

- ①保険・医療または福祉の増進を図る活動
- ②社会教育の推進を図る活動
- ③まちづくりの推進を図る活動
- ④文化・芸術またはスポーツの振興を図る活動
- ⑤環境の保全を図る活動
- ⑥地域安全活動
- ⑦阪神・淡路大震災による被災者救援及び被災地復興を含む災害救援活動
- ⑧人権の擁護または平和の推進を図る活動
- ⑨青少年の健全育成を図る活動
- ⑩国際協力及び地域の国際化を図る活動
- ⑪男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- ⑫前各号に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助もしくは調査の活動
- ⑬その他当基金が特に公益を目的とするものと認めた活動

[助成金額]

支給される助成金は、1事業について総事業費の4分の3以内かつ、金100万円を上限とします。総額は500万円以内を予定しています。ただし、今回はうち200万円分については、特定寄附金からの助成となりますので、200万円は被災者保護、被災地復興、災害救援活動を目的とする事業に助成されることが決まっております。

[申請受付期間]

平成12年10月20日（金）～10月27日（金）

[申請団体数]

特定申請 9団体 一般申請 16団体 合計 25団体

[公開審査会]

以下の日程で公開審査会を開催致しました。

開催日時：平成12年11月23日（木） 12:00～16:00

会場：神戸市生涯学習センター（コミスタ神戸）

参加：申請団体、基金審査員、基金役員、傍聴自由

[審査結果]

公開審査会における審査の結果、助成団体が以下のように決定致しました。

	事業名	団体名
一般申請	試写会・定例会・交流会	マザーサポートの会
	ODEKAKEクラブ	療育スタッフGネット
	オーロラステーション（介護者のためのケアステーション）の設置	西宮地域たすけあいネットワーク
	2000年度後期コリアン青年セミナー	在日韓国青年連合兵庫地方協議会
	夫・恋人からの暴力の被害女性と子どものサポート活動	W・Sひょうご運営委員会
	精神障害者就労支援講座	小規模作業所ラムア準備会
特定申請	閉じこもり予防事業	プラザ5運営委員会
	ふれあい給食会・ふれあい喫茶	ふれあい祭りプロジェクト
計	¥4,645,000-	8団体

第 2 回全申請団体一覧

	NO.	事業名	団体名
一 般 申 請	1	音楽のまぜごはん ーボランティアグループの集いー	劇団「菜の花畑」
	2	りぶ・らぶ・あにまるず ー動物たちと暮らすことー	特定非営利活動法人 K n o t s
	3	試写会・定例会・交流会	マザーサポートの会
	4	子午線上のアートパフォーマンス	ROUTE・B
	5	ODEKAKEクラブ	療育スタッフGネット
	6	オーロラステーション (介護者のためのケアステーション) の設置	西宮地域たすけあいネットワーク
	7	2000年度後期コリアン青年セミナー	在日韓国青年連合兵庫地方協議会
	8	高齢者・障害者のための移送サービス	東灘・地域助け合いネットワーク
	9	夫・恋人からの暴力の被害女性と子どものサポート活動	W・Sひょうご運営委員会
	10	第4回ひょうご建築紀行コンクール	特定非営利活動法人 建築施工技術研究所
	11	高齢者や障害のある方々をはじめとする地域住民が補い あい、暮らせる地域社会の創造をめざす事業	特定非営利活動法人 西すず安心センター
	12	就労支援、フォローアップ調査と今後の体制づくり	アジア女性自立プロジェクト
	13	高齢者・障害者の外出介助の為の移送サービス事業	リーフグリーン
	14	精神障害者就労支援講座	小規模作業所ラムア準備会
	15	阪神・淡路大震災6周年記念事業 第1回芦屋芸術祭	特定非営利活動法人 芦屋芸術村村役場
	16	神戸21世紀・復興記念事業 あなたのステージ・夢体験「和と洋の美」	松本尚女
特 定 申 請	1	閉じこもり予防事業	プラザ5運営委員会
	2	地域住民とともに考え、行動する 住宅再建・まち支援	まち・コミュニケーション
	3	旧西国街道大名行列	旧西国街道大名行列実行委員会
	4	ふれあい給食会・ふれあい喫茶	ふれあい祭りプロジェクト
	5	被災児童支援のためのレクリエーション事業	特定非営利活動法人 プレーンヒューマニティ
	6	被災者生活再建支援法の早期見直しと 拡充を求める国会請願活動	阪神・淡路大震災被災者生活再建支援法 早期見直しと拡充を求める会
	7	神戸いのちの電話・相談員の継続研修	神戸いのちの電話
	8	こころのケアステーションの運営	こころのケアステーション
	9	「女の伝言板」の出版と贈呈	ウィメンズネット・こうべ

2 タイズ財団・パイク会長講演会（当基金共催事業）

【目的】

タイズ財団は、小口寄付者の寄付を集めて大きな助成活動を行うコミュニティ財団で、社会変革的な市民活動団体に絞って助成を行うことから「社会変革財団」「NPOのベンチャーキャピタリスト」などと呼ばれています。姉妹組織のタイズセンターを立ち上げ、小さな市民団体を内部に抱え、マネジメント支援及び育成をする「NPOインキュベーター」機能を果たし、エコネット、ピースネットなど米国市民運動の代表的コンピューターネットワークを抱えています。さらに、50 団体が入るNPOセンターを独自に建設するなど「カネ、マネジメント、場所、情報」のあらゆる側面からNPOインフラづくりを行うモデルを生み出しています。米国での先進事例からNPOの活動が社会に浸透しつつある日本におけるNPO支援の理念と具体的なモデルを学ぶことを目的とします。

【事業内容】

タイズ財団の創設者であり、現会長でもあるドラumont・パイク氏をお招きし、「NPO三種の神器とは？」タイズ財団・パイク会長から学ぶというタイトルで講演会を開催した。

【開催日時・場所】

日 時：平成 12 年 6 月 18 日（日）13：30～
場 所：神戸クリスタルホール
参加人数：125 名

【講師プロフィール】

講師名：ドラumont・パイク 氏（タイズ財団会長）

プロフィール：1948 年カリフォルニア生まれ。1970 年カリフォルニア大学サンタクルーズ校卒業。ラトガース大学修士課程（政治学）を修了後、ワシントン D. C で、全米の青少年運動を連携する NPO、Youth Project を設立した。その後、サン・フランシスコの助成財団（Shalan Foundation）のディレクターを勤めたのち、1976 年にタイズ財団を設立。これを全米屈指の社会変革財団に育てるとともに、他に類を見ない NPO インキュベーター事業（タイズセンター）をつくり、1998 年には「NPO 立 NPO センター」にして環境建築モデル、ソーローセンターを完成させた。

[講演会事業のまとめ]

今回は神戸復興塾との共催事業であり、全国 5 箇所のNPOセンター等が連携し、それぞれの地において講演会を行いました。当基金など足元にも及ばない規模のNPO支援財団ですが、パイク会長の「最初は寄付が集まらず、大変な日々が続いた」とのお話に安堵しました。しかし、日米の寄付文化の違いや、国や州のNPOに対する考え方の違いなど、今後、私達が取り組まなければならないことが浮き彫りにされ、大変、有意義な講演であったと思います。当日ご参加頂きました皆様、また、設営にご協力頂きました皆様にご場を借りて御礼申し上げます。

3 第3回こうべiウォーク（当基金共催事業）

iウォークは市民の、市民のための募金行事です。阪神・淡路大震災をきっかけにボランティア活動の重要性は広く知られるようになりましたが、その活動を支援する財政基盤は未だ確立されていません。ボランティア先進国のアメリカでは多様な資金集めの手法が発達していますが、募金を持ち寄って一緒に歩くという今回の催しも全米各地で行われているエイズウォークに啓発されて始めたものです。1999年1月に開催した第1回iウォークには3千人を超える参加者があり、260万円を超える募金がありました。ウォークの運営費用は各種団体による助成金や広告収入でまかなう方針で、頂いたお金は全額「しみん基金・こうべ」に寄付致します。ウォークのコースはJR鷹取駅前大国公園から三宮の東遊園地まで、全行程10キロを歩きます。庶民的で活気にあふれたこの地区が震災でどんなに変わったか、自分の目で確かめてみましょう。道中6箇所にスタンプが用意されていますが、ルートや所要時間の制限はありません。

（以上、第3回こうべiウォーク・ガイドマップより抜粋）

開催日時 : 平成13年1月14日(日) 受付11:00~13:00
主催 : 第3回こうべi(あい)ウォーク実行委員会
しみん基金・こうべ
後援 : 兵庫県、神戸市
協賛 : 西日本旅客鉄道株式会社
参加者数 : 1,450名
募金総額 : 1,955,635円

まとめ

今回より共催事業となり、しみん基金・こうべとしては、ゴール地点において、これまで助成をした団体に呼びかけ、活動報告や物品の販売を行って頂きました。ウォークに参加された方には募金されたお金がどのような団体に助成されたかが、目に見える形となり良かったのではないかと考えます。3日後の1月17日には兵庫県主催のメモリアルウォークが開催された関係で参加者が減少したのは残念でしたが、関西電力やP&Gといった企業から職場ぐるみの参加や募金があり、企業における市民活動支援の新たな形が見えたことは当基金にとって、嬉しいことであったと思います。ウォークに参加された方々に心より御礼申し上げます。

4 「もいちど出会えてありがとう」支援事業（当基金委託事業）

神戸 21 世紀復興記念事業の一環で展開している「神戸からの感謝の手紙」運動の呼びかけで市民から次のアイデアが寄せられました。「震災のとき避難所生活を余儀なくされたけど、あのときお世話くださったボランティアの方ともう一度会って感謝の言葉を言いたいんだけど・・・」記念事業事務局では、この声を下記の内容で実現し、支援していくことになりました。地域では、ボランティアグループによる“同窓会”が開催されていることはマスコミでも紹介されていますが、記念事業の一環で市内の各所での広がり構築するため今回制度化したものです。また、今回の支援事業（助成事業）をNPO「しみん基金・こうべ」に委託することによって、行政サイドにない基金の持つ事業助成審査等の専門性を活かすと共に、広くNPO支援を図ることに繋がりたい。（神戸 21 世紀復興記念事業事務局・プレス発表より抜粋）

〔支援内容〕

震災当時、避難所等で支援してくださった方々を神戸にお招きし、感謝の気持ちを表す“同窓会”の開催を支援する。

〔助成対象〕

被災された方を含むグループ・団体と、地域の団体（自治会や婦人会・老人クラブ等）又は、ボランティアグループの協働する団体。

〔助成額〕

全体の活動費の2分の1相当で、参加人数により3万円以上、10万円以下。

〔受付期間〕

平成 12 年 10 月 10 日～11 月 10 日（第 1 回）

平成 13 年 1 月 10 日～3 月末日（第 2 回）

〔申請団体数〕

第 1 回 申請団体数 15 団体（内 14 団体に助成）

第 2 回 申請団体数 19 団体（内 18 団体に助成）

まとめ

当基金として初めての委託事業であり。しかも、助成事業を行政がNPOに初めて委託する事業でもありました。助成先がNPOではなく、自治会や老人クラブ等、多岐にわたり当初、戸惑いを隠せませんでした。事業計画書や予算書の書き方などをレクチャーする中で、しみん基金の活動に理解を示して頂けたことや、事業実施後に感謝の気持ちをご寄付で頂けたことは委託を受けた意味があったと思います。

5 寄付金

兵庫県立近代美術館
アートエイド神戸
堀内正美
新神戸オリエンタル劇場
大阪ボランティア協会
飛田雄一
中島秀男
榎憶良
王子南ボランティアグループ
高木清
神戸ウォーク実行委員会
市民活動広場
八尾佳子
小柴秀代
藤原靖子（Gネット）
被災地NGO協働センター
井上平三
MABU I 上映委員会
瀬戸口仁三郎
佐藤定男
室崎益輝
新福尚隆

島田誠
門前三枝子
岩下明子
日本聖公会三光教会
柴田多恵
柳田邦夫
まけないぞう売上
（被災地NGO協働センター）
福田和昭
「ラムア」和田弥彦
中村敏弘
フジコ・ヘミングコンサート
（キョードー大阪）
源水進
関西西宮信用金庫
（復興記念コンサート）
柳田節子
柳田みどり
廣内清人
日本青年会議所
田中瑞穂
小川良二

バンブーCOOP
1.17 神戸に灯りを
草地さんの仕事刊行委員会
島村明子
さくら総研みどり会

（敬称略・順不同）

総額 ￥19,473,516-

6 募金

アートエイド神戸
がけっぷちフォーラム
しみんクリーンウォーク
パイク氏講演会
公開審査会
山口真司
無記名
神戸MOMENTUM
海文堂募金箱
コンサートほか実行委員会
人権フェスタ
フェスタ in 湊川
市民活動センター神戸
iウォーク募金箱
市民検証フォーラム
フジコ・ヘミング・コンサート
ろうきんNPOフォーラム
兵庫県移送サービス
みんなおいでフェスタ
（敬称略・順不同）

総額 ￥243,434-

おわりに

法人格取得後、初めての年度は、当基金の柱となる助成事業を中心に 1 年間を送って参りました。公開審査の折に審査員の方々から漏れ聞こえた「財源があれば、助成したい団体は多くある」という声を肝に命じ、更なる市民への周知と寄付の呼びかけを行っていきたいと考えます。そのために、新たに募金委員会を設置し、今後の対応策を練っております。また、その他の事業を通じても市民や企業へのPR活動を行いました。それぞれの事業については関係各位のご協力により無事に終えることができました。ご支援、ご協力を頂きました皆様には心より感謝申し上げます。NPOに対する税制優遇措置法案が可決し、本年施行されます。社会的な認知を受けたことで、社会的責任も増して参ります。しみん基金・こうべはその手本たるべく努力し、市民社会の一翼を担う市民活動を側面から支援していきたいと考えています。今後ともご支援、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203

TEL (078) 230-9774 FAX (078) 230-9786